

令和6年度 第4回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年1月24日（金） 14時40分から15時45分まで
- 2 開催場所 船越小学校 3階会議室
- 3 出席委員 本多 靖明、石川 公子、名倉 久純、杉浦 猛弘、藤本 桂、鈴木 仁、永田 真也、山内 雄一郎、山田 佳敬
- 4 オブザーバー 佐藤 拓男（中部協働センター所長）
- 5 学 校 中村 竜久（校長）、田内 乃理恵（教頭）、波多野 祐子（CSディレクター）
- 6 会議記録作成者 CSディレクター 波多野 祐子
- 7 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、石川委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

8 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 学校運営協議会の自己評価
- (3) 令和7年度の学校運営基本方針の説明（校長）

9 会議記録

司会の田内（教頭）から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価

- ・学習に関して、学校側が取り組んでいることは信頼しており、アンケート結果に表れている。
- ・いじめに関して、アンケートを活用したり子供の様子をよく観察したりして、熱心に取り組んでいる様子が見られる。今後も引き続き取り組んでほしい。
- ・項目9だけ、教員の評価が低いのが気になる。学校で安全に気を付けてくださるからなのか。 (名倉委員)
- ・教員の評価が、児童、保護者とかけ離れすぎている項目（良い方に）については、とらえ方がちがうところもある。学校では、廊下を走ったり、友達との関わりの中での危険行為があったりする。 (校長)

(2) 学校運営協議会の自己評価

○項目4（来年度の目標）について、重点的にするものはどれにするか。

- ・学校の力になるために、地域の人達がどのように関わるのがよいか。地域の得意な情報を、回覧板などを通じて得ることができれば、力になりやすいのではないか。 (山田委員)
- ・子供ファーストの気持ちを地域と共に伝える活動をしていけたらよいのではないか。 (鈴木委員)
- ・子供ファーストで地域連携も大事だが、保護者とPTAが連携し一緒に活動ができれば卒業後は地域として関わりを続けてもらえるのではないか。 (永田委員)
- ・CSもその委員も、先生や保護者に認知されていない。委員と先生方が一緒に話す機会をつくるなど、工夫が必要なのではないか。 (杉浦委員)
- ・子供たちの学校での元気な様子を地域に知ってもらい、認めてもらえば、協力を得る

ことができるのではないか。以前、学校で行っていた奉仕活動を地域で復活させるのもよいのではないか。（名倉委員）

- ・CSの事を地域のコミュニティや、「ねこのて」さん、交通指導隊の人達にも、もっと働きかけたらどうか。地域社協で発言し、協力を得ることも必要なのではないか。東小はアクト地区であるが、地域の垣根を越えて一緒に何か活動できることはないか。ボランティアが参加しやすい体制を整えられるとよい。（本多委員）

（３）令和７年度の学校運営基本方針の説明

- ① 資質能力を育む「主体的・対話的で深い学び」
- ② 学校生活に彩りを与える学校行事の充実
- ③ 家庭との信頼関係の構築
- ④ より深い地域との連携

について、校長より説明があった。

- ・浜松市では、５歳児健診が行われる動きや、就学時前の子供と小学校との関わりの場を作ろうとするような動きもある。保育園、幼稚園と小学校がうまくかかわっていけるようになると良いと思う。（山田委員）
- ・今年のこの地域のはたちの集いでは、代表２名が船越小出身だった。これからも、協働センターの色々なプログラムが、学校や地域に生かされていていてもらえたらと思う。（佐藤所長）

その他報告事項等

- ・司会から、次回会議は、令和７年５月９日（金）１４時４０分から会議室で開催する旨の報告があった。